

8月26日 教育子ども委員会（さはしあこ委員・高橋ゆうすけ委員）

4年ごとの業務委託で学校給食が担えるのか 背景には退職者不補充の方針

8月26日の教育委員会では、請願5件の審査と、小学校給食調理業務の委託校の現状について報告がありました。請願審査は全会一致で、1件が採択、4件が保留になりました。

委託後に異物混入等4件

小学校給食の調理業務を民間委託した3校では1学期中に、ビニール片の異物混入2件や、調理ミスによる焦げなど事故が計4件起こりました。

自民党の議員が、今までの直営と委託にしてからでは事故の割合はどちらが多いか質問。当局は、直営校で起こった件数より多い、と認めました。

委託を広げることも検討

説明資料の「業務委託による成果」の中には、「包丁などの刃欠けの確認を複数人で行う」ことも。高橋ゆうすけ議員は、「直営でもしっかりやっている。無理やり成果として挙げられている」と疑問を呈しました。

業務委託では、4年後に業者が代わる可能性がある不安定雇用。高橋議員は、衛生的な調理や人員体制が

維持できるのか質問。当局は「今回は、実績のある業者の中から選定した」「調理員の退職不補充という状況もあるので、委託を広げることも検討する必要がある」と答えました。

業者かわるとリスクも増える

さはしあこ議員は、業務委託の要因となっている、技能労務職等の退職者不補充の方針について質問。当局は、正規職員の必要性を一定は認めつつ、全市の方針であり採用は難しいと難色を示しました。

4年後に事業者自身が代わってしまう可能性がある、パート職員の入れ替わりもある業務委託で、食物アレルギーのあるお子さんへの対応はリスクが高まらないのかと、さはし議員。当局は、現在の委託3校では、学校にアレルギー対応委員会があり情報共有しているし、保護者との面談でお子さんのアレルギーについても聴く、と答弁しました。

さはし議員は、「業者が代わるとリスクも増える」「業務委託を広げるか検討、との答弁もあったが、学校給食は教育の一環。しっかり直営で守ってほしい」と求めました。

教育子ども委員会での請願審査の結果（2016年8月26日）

	請願名（請願者）	請願項目	結果
新規請願	乳幼児を持つ名古屋の保護者のために、保育所等の利用調整基準の改善を求める請願（名古屋民間保育園連盟）	障害児を含む兄弟姉妹が、できる限り同一の保育所等に入所できるように、民間保育所等の整備を進め、入所枠を拡大するとともに、利用調整基準表の改善を図ること。	採択
保留請願	子供たちが健やかに育つために病児・病後児デイケア事業の拡充と一時保育業の拡充を求める請願（北区保育団体連絡会）	病児・病後児デイケア事業の利用料を第2子以降は減免すること。 病児・病後児デイケア事業の未実施の区及び支所管内の地域に、病児・病後児デイケア事業実施施設を開設すること。 一時保育事業を公立保育所のエリア支援保育所で実施すること。	保留
	子供たちが健やかに育つために公的保育制度の堅持を求める請願（天白区住民）	公私間格差を是正する制度を守り、現在の保育の質を維持・向上すること。 安心して子供を預けることができるよう環境を整えること。 学童保育所を守り、発展させるとともに、過大な保護者負担を軽減できるような助成を実施すること。など	保留
	安心して子供を産み育てられるよう保育の公的責任の堅持と保育施策の拡充を求める請願（愛知保育団体連絡協議会）	全ての子供の安心・安全で豊かに育つ権利が等しく保障されるように、子ども・子育て支援新制度を改善するよう国に求めること。 保育を必要とする全ての子供たちが、希望する保育を受けられるよう、認可保育所の整備を進めること。 公私間格差は正、延長保育、障害児保育などにかかわる市単独助成を継続・拡充すること。	保留
	児童発達支援センターの充実を求める請願（地域療育センターの早期建設を実現させる会）	児童発達支援センターに通園を希望する子供たち全員が入園できるように、児童発達支援センターの定員を増やすこと。 どんな障害があっても、毎日安心して通うことができる児童発達支援センターにすること。	保留